

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道癌術後に認められたオリゴ転移症例に対する治療戦略と予後に関する後方視的観察研究

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2000年1月1日から2025年12月31日までの間に、昭和医科大学病院において、食道癌に対する手術を受けられ、その後の経過中に転移を認めた患者さんです。

### 2. 研究目的・方法

食道癌の手術後に転移が認められた患者さんの中には、転移の数や範囲が限られている「オリゴ転移」と呼ばれる状態の方がいます。このような場合、転移に対する治療方法の選択が、その後の経過に影響する可能性があります。

本研究では、これまでに行われた診療の記録をもとに、転移の部位や数、治療内容および治療後の経過を調べることで、今後の治療方針を考えるための参考となる情報を得ることを目的としています。

本研究は、通常の診療で得られた診療情報を用いて行う後ろ向き研究であり、この研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年3月31日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療録、画像検査結果および病理検査結果から、年齢や性別などの基本情報、食道癌の手術および病理診断に関する情報、手術前後に行われた治療内容、再発や転移の部位および数、治療後の経過ならびに生存状況に関する情報を使用します。

本研究のために、新たに試料を採取することはありません。

### 5. 外部への試料・情報の提供

本研究は、昭和医科大学の単施設で実施する研究であり、研究に用いる試料や情報を外部の研究機関へ提供することはありません。

したがって、本項目には該当いたしません。

## 6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学	医学部外科学講座	消化器一般外科学部門	広本 昌裕
研究分担者	昭和医科大学	医学部外科学講座	消化器一般外科学部門	山下 剛史
	昭和医科大学	医学部外科学講座	消化器一般外科学部門	有吉 朋丈
	昭和医科大学	医学部外科学講座	消化器一般外科学部門	五藤 哲
	昭和医科大学	医学部外科学講座	消化器一般外科学部門	茂木健太郎
	昭和医科大学江東豊洲病院	消化器外科	大塚耕司	
	昭和医科大学	医学部外科学講座	消化器一般外科学部門	青木 武士

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 医学部外科学講座 消化器一般外科学部門 氏名：広本 昌裕

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541